

ご挨拶 会長 籠 直子

男女共同参画ネットワークは、女性による女性のための活動がスタートです。平成5年に敦賀女性ネットワークが設立、平成17年男女共同参画都市宣言。取り組みを明らかにいたします。女性たちは「男女共同参画社会の実現」をテーマに学習し、啓発運動に一生懸命でした。地域へ手作り冊子を配布したり、婦人会、区長と語る会を開いたり数多い活動の記録が残されています。平成18年に会の名称をつるが男女共同参画ネットワークと改めました。20周年記念は、予算が大幅に計上され、中央より著名な講師をお招きし、会場は大変盛り上がりしました。と同時に益々ネットワーク活動の大切さを認識します。



活動計画にも独自の活動、新しいものを取り入れ、高校生や中学生との交流も行います。若者たちの意識の変化を知りました。教育の力です。

男女共同参画社会は、道半ばですが、長年の活動で、個性の尊重、女性の活躍推進、自分らしい生き方の選択、性の多様性など、着実に浸透しています。それは、明治大正昭和平成と、大昔から声をあげ戦ってきた勇気ある女性たちのおかげなのです。まだまだ苦しみ悩んでいる人たちが多く、更に関心を持つことが望まれます。

明るい未来を目指し、ネットワークの活動が続けていけるよう願ってやみません。

前会長 森下 好子

この30年を振り返りますと、設立時の女性リーダーたちの熱心な取り組みから今日まで、「男女共同参画」の推進団体として多くの活動をしてまいりました。



「高齢化社会に向けた男女共同参画を考える集い」や防災に焦点をあて、支え合う組織づくり等、企画・運営に良い仲間と一緒に携われ、やり遂げた充実感を味わうことができたのもネットワークの組織力のおかげです。

当会は、令和2年度から会長・役員は、輪番制を取り入れ2年間としました。しかし、どこの会も同様ですが、会員の高齢化で活動も陰りがでてくるのではと懸念を抱いています。

さてこの30年で女性を取り巻く法律や制度・環境が

前々会長 森田 勝子

ネットワークは、活動目的など異なる団体で構成されています。故に、相互に理解し尊重することが前提となります。また、それぞれが負っている役割を適切に果たすと共に、対等な立場で協力しあうことも大切なことです。他に、「地域づくりは男女共同参画システムを活用しなければやっていけない」と言われます。当会の目的であります男女共同参画社会の形成に、地道に取り組めます。そして、ネットワークの有利性を活かしつつ、事業計画の基本目標として、①透明性・主体性のある組

市長からのメッセージ

つるが男女共同参画ネットワークが創立30周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。長きに渡り男女共同参画社会の形成を目指し、豊かな敦賀市づくりに取り組んでこられましたことに心から敬意を表します。



また、これまでの輝かしい歴史を収めた記念紙が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。設立当時は、男女共同参画に関する法整備や取り組みが進められ、男女共同参画社会実現に向けた機運が大いに高まっていた時代であり、現在のネットワークの前身である「敦賀女性ネットワーク」は、活発な市民活動団体の皆様により、大きな期待とともに結成されました。これまでの活動の中には、いろいろと御苦労もあったことと思いますが、男女共同参画の視点に立った市民公開講座の開催や、学びの実践など、様々な事業を継続的に企画、実施していただいていることは、地域社会に少しずつ浸透しており、多くの女性の活躍を後押ししてこられたことと思います。本市におきましては、「つるが男女共同参画プラン」を平成14年に策定して以降、男女共同参画社会を構築するため、市の取り組みを取りまとめ、現在は第4次プランを基に、市民や団体、地域、事業所における男女共同参画の推進に取り組んでおり、「男女共に 自分らしく生きていけるまち 敦賀」の実現を目指し、さらなる男女共同参画社会の推進に努めているところです。

ネットワークの皆様におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知見とネットワークを生かし、新たな課題に挑戦し続けてくださることを期待するとともに、性別に関係なく、全ての人が希望に応じて家庭でも、仕事でも活躍できる社会の実現のため、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、貴団体の益々の御発展と会員の皆さまの御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

市長 米澤 光治

整ってきました。今後も時代の変化とともに、すべての人々が自分らしく暮らせるまちづくりという普遍的な目的を目指していきましょう。つるが男女共同参画ネットワークの益々の活動を祈念申し上げます。

織づくり、②みんなが話せる場づくり、③コンセプトを明確にし、共有する組織づくりの三つの柱をたてました。

会員の皆様と共に、ネットワークを、ひいては、地域を再生させる何かを掴みたい、そうしなければいけない気持ちです。全ての会員と共に、楽しみや、喜び、達成感を共有したいのです。

(ネットワーク会報19号 平成26年度会長就任時)



写真で見る30年のあゆみ

10周年に向けた取り組み

「敦賀女性ネットワーク」設立
(平成5年5月)



市長との対話会
(平成8年度)



いきいきまちづくり
市や県の現状を学び提言

敦賀市各団体との「知事対話」
(平成13年度)



知事と語ろう私たちの県政



誰もがいきいき暮らせるまちづくりを
目指し初めての女性議会 (平成14年度)



講師を囲んで記念撮影

創立10周年記念式典 (平成15年度)

20周年に向けた取り組み

敦賀市男女共同参画都市宣言
記念講演 (平成17年度)



会の名称を変更
(平成18年度)
敦賀女性ネットワーク
↓
つるが男女共同参画
ネットワーク

創立20周年記念式典 (平成25年度)



披露した寸劇は拍手喝采 →



歴代会長表彰



区長との意見交換 (平成17~21年度)



女性リーダーを育てるきっかけとなることを願い



寸劇で問題提起



JR直流化に合わせ喫茶店を開設 (平成18~24年度)



きらめきみなと館にて
「港の小さな喫茶」



県内トップを切りレジ袋削減の取り組み
(平成20年度~)



会員が一丸となりパネル展・バザー・バンド演奏も



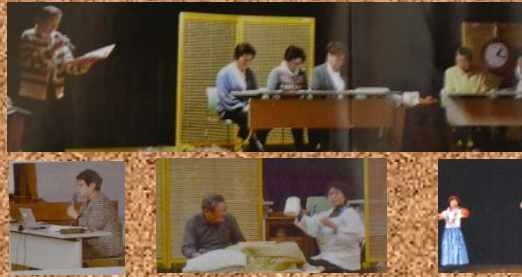
駅前ふれあい市を開設 (平成21年度)

30周年に向けた取り組み

防災を学ぶ (平成26年度)



介護を学ぶ (平成27年度)



「新春の集い」 (平成26～令和元年度)



視察研修



富山県 広域防災センター
(平成26年度)



岐阜県複合施設生涯学習拠点
ハートフルI7G(平成28年度)



滋賀県甲賀市 あいの土山
福祉会 (平成29年度)



奈良県生駒市 原子力災害時の
広域避難先 (平成30年度)



京都市「京都あじき路地
の取組」(令和元年度)



人道の港敦賀ムゼウム
(令和2年度)

他団体との交流



鯖江男女共同参画ネットワーク(令和3年度)



永愛ネットワーク(令和4年度)

他団体を受け入れて交流

- あわら市男女共同参画ネットワーク (平成28年度)
- おおの市男女共同参画ネットワーク (平成28年度)
- 若狭女性ネットワーク (平成29年度)
- さかい男女共同参画ネットワーク (平成29年度)
- 福井男女共同参画ネットワーク (令和4年度)

多世代交流

- 敦賀高校 (平成28年度)
- 気比高校 (平成29・30年度)
- 角鹿中学 (令和元年度)



市長と語る会(平成27～30年度)



議員と語る会(令和3～4年度)



（DV防止・人権啓発）
パープル吊るし鶴制作協力

啓発活動 (市民公開講座や学習会・キャンペーン等)



市民公開講座



街頭キャンペーン



学習会



活動紹介



地域貢献(行事)

